

～誰もが安全で健康に働く十勝のために～



この通信は誰もが安全で健康に働く十勝を実現するため、各会社の安全衛生などの取組を発表していただき、地域の皆様の安全衛生の意識向上を図り、労働災害減少を目指すものです。

## 転倒に気を付けよう～つまづき、すべり～

転倒災害は全災害の約3割。

重症化しやすく、特に女性の割合が高い。

48.5日



転倒災害による平均休業日数(令和5年)

つまづき防止の整理整頓等環境整備を。また、重症化しにくい体作りを心がけましょう。

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の疑いのある人は50歳以上の約7割(推計)

### 今すぐチェック

✓ いますぐ「転びの予防 体力チェック」



✓ 「毎日かんたん！ロコモ予防」(出典：健康寿命をのぼそう SMART LIFE PROJECT)



✓ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」も有効(こつそしょうしょうけんしん)

✓ 骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」(出典：健康寿命をのぼそう SMART LIFE PROJECT)



12月末の労働災害  
-1月末現在速報値-

死亡者数 6人  
死傷者数 554人

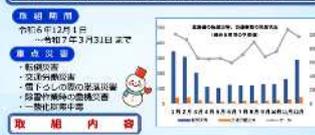
第14次 2年目  
労働災害防止計画  
目 死亡者数 5人以下  
標 死傷者数467人以下

### 掲示板

#### 北海道冬季ゼロ災運動

～冬季特有の労働災害を防止しよう～

冬季の北海道では、積雪・凍結による転倒、自動車のスリップや転倒等の頻発による交通事故、除雪作業に伴う墮落や機械との接触、屋内での凍結対策器具の使用による一酸化炭素中毒などの冬季特有の労働災害が多発しています。  
【北海道冬季ゼロ災運動】は、これらの労働災害を防止するため、事業者と労働者が一丸となって取り組みを行う具体的な事項を提示し、冬季ゼロ災の実現を目指します。  
労働者の協力して「北海道冬季ゼロ災運動」に取り組まましょう。



- 実施期間  
令和6年12月1日  
～令和7年3月31日まで
- 参加対象  
- 転倒災害  
- 交通労働災害  
- 雪上での凍結対策器具による一酸化炭素中毒  
- 除雪作業時の機械災害  
- 一酸化炭素中毒
- 取組内容
- 共通事項
1. 転倒・スリップは冬季に多い。これに起因した各種対策に積極的に取り組むこと。
  2. 事業者の定期的な点検・メンテナンスの徹底を行い、ハードウェアの劣化を防止すること。また、作業現場の氷や雪(凍結)を除去、安全確保を優先して作業を行うこと。
  3. 安全衛生管理を徹底し、安全衛生管理員や関係機関との連携・協力を徹底すること。
  4. 凍結対策を徹底して実施し、これに起因した作業スケジュールを計画すること。また、大雪・凍結対策、作業現場の凍結防止対策の徹底実施及び作業の安全確保を徹底して実施すること。
  5. 凍結対策として、凍結防止剤の使用は有効だが、雪が降りた際には、道路標識が凍結防止剤で凍結しやすくなることに留意すること。
  6. 転倒・スリップ防止対策を実施する者に対して、冬季特有の転倒・墮落の危険性を十分に説明し、適切な安全対策を講じ、より安全な作業環境を整備すること。

雪、氷、寒さも労働災害の要因になります。



### 化学物質管理強調月間

- 令和7年2月 -

洗剤なども化学物質です。適正な化学物質管理をしましょう。

オンラインセミナーの活用  
令和7年2月28日  
先着 250名

### SAFEコンソーシアム



関連：転倒防止 / SAFEアワード / 互いの知恵の共有

### 無災害表彰制度

関連：ゼロ災害 / 前に災害あったのいつでした? / 記録更新

北海道最低賃金  
令和6年10月1日改定  
時間額 1010円



## 化学物質対策

職場で風呂掃除中、寒いので、窓を閉めた状態で塩素系洗剤を使っていたところ、のどなどに強い刺激があり、労働者の体が動かなくなった災害がありました。

洗剤など身近な化学物質も使用方法を誤ると危険です。化学物質対策についての規制が強化されています。正しい管理をしましょう。

リスクアセスメント結果に基づくばく露低減措置

保護具の適切な着用

SDS等による情報伝達強化

自律的管理に向けた実施体制の確立(化学物質管理者の選任等)



## 帯広労働基準協会からのお知らせ



基準協会HP

令和7年度各種講習会・研修会等の開催予定が発表されております。技能講習・特別教育等は、公益社団法人北海道労働基準協会連合会ホームページ(<https://hokkiren.or.jp/>)のトップページ「年間予定表」、安全衛生研修会は、中央労働災害防止協会ホームページの北海道安全衛生サービスセンター(<https://www.jisha.or.jp/hokkaido/index.html>)にそれぞれ掲載しております。



中災防HP

講習会等への参加を検討されている方は、ご確認をお願い致します。なお、会場が帯広建設会館の場合には、駐車場に限りがありますので同じ会社等から参加される場合には、乗り合わせにより来場いただきますようお願いいたします。

帯広労働基準監督署・帯広労働基準協会

事業所名 : 日本甜菜製糖株式会社 芽室製糖所 (河西郡 芽室町)  
業界・業種 : 製造業 (ビート糖、ビートパルプ、オリゴ糖等の製造)

従業員 : 約 160 名

## 日甜芽室における労働災害発生防止に向けた取組み

当事業所では、2022年は請負協力会社も含めた労働災害、2023年は原料ビート輸送車による交通事故が多発しました。

その経験を踏まえて、労働災害発生防止に向けて下記の取組みを実施しておりますので、ご紹介させていただきます。

### 安全衛生協力会の充実・安全衛生監査の実施

当事業所内は基より当社他事業所での労働災害発生状況を請負協力会社へ情報提供が徹底しておらず、類似災害が発生してしまった現状を踏まえて、製糖期 (工場操業期間) は月 1 回程度、主な請負協力会社の担当者と当社の安全衛生委員等が出席する「安全衛生協力会」を実施しております。

これまで年 3 回程度開催しておりましたが、月 1 回程度の開催とすることにより、情報の水平展開が迅速となり、類似災害発生防止につながっております。2023年には、原料ビート輸送車による交通事故が多発したことから、2023年11月の当事業所安全衛生協力会において、帯広警察署 交通第一課長に講師をお願いし、交通安全に関する講習を実施、交通事故防止への取組みも行いました。

また、工場の修繕期中は、月に 1 社を目安に請負協力会社の担当者に、請負協力会社が実施している安全対策や当社での作業で日頃疑問に感じている点等をお伺いする情報交換の場として「安全衛生監査」を実施し、当事業所の労働災害発生防止に役立てております。



### 体感型VR研修の実施

当社人事部が安全教育の一環として実施している、明電舎のVRシュミレーターが、2023年と2024年の夏場に各 1 か月間程度、当事業所に設置されました。

転倒や墜落、挟まれ・巻き込まれといった労働災害を疑似体験できる機材です。

2023年は当社と請負協力会社の従業員を中心に体験してもらいましたが、2024年は十勝食災防事務局の方々や関連会社の方々にも体験して頂き、当社のみならず、地域の労働災害発生防止に役立てて頂きました。



### 外部顧問による安全診断の実施

当社では安全衛生顧問による、安全診断が各事業所にて実施されております。

月 1 回、当事業所の従業員と請負協力会社担当者による「安全衛生パトロール」は実施されておりますが、外部の専門家をお招きして第三者の目による安全診断を実施することにより、普段気付くことができない問題点をご指摘頂いております。

直近では昨年 12月26日に実施されました。新たな視点でのご指摘を頂き、労働災害発生防止に役立てております。



### 事務局からのコメント

取組内容が、協力会社も含めた内容であること、協力会社も月例に参加されており、問題意識を逐次共有されていること、また体験型VR研修で被験者によく考えさせる研修をされていること、第三者である外部顧問による安全診断を定期的実施されており、とても質の高い取組みです。